

『生命の海科学館』の意見の整理・分類

グループヒアリングでいただいたご意見を、
集約&分類を行い、分類した意見について
内容を要約・整理いたしました。
なお、どのグループからのご意見かについ
ては、グループカテゴリー凡例のとおりです。

【グループカテゴリー 凡例】
1部：一般公募グループ
2部：施設利用者グループ
(科学館利用者・他施設利用者)
3部：若者議会グループ
4部：中学・高校・大学生グループ

○現在の科学館の展示、講座や活動について

既に科学館の様々な体験や講座は非常に人気である。大学との共同研究や小中学校
への出前講座授業など、活動が積極的である。

一般公募、中高大生

- ・いまのワークショップは人気で、予約初日に電話してもなかなか予約が取れないほど。
- ・マニアックな深海魚を食べてみるとか、普段は作れないものを作るとか、既におもしろい体
験をやっている。こうした体験や講座を広めればよい。
- ・科学館の講座は充実しているが、展示はそうでもないと思う。たくさんの人が興味・誇り・
愛着を持てるもの、すごいと思えるもの、他の人に自慢できるものがあるといい。
- ・体験型の展示はたくさんあるが、子ども達は取り合いになる。数人でも楽しめる展示や遊具
などがあると良い。
- ・山中館長は石の専門家で、お話好きだからいろいろ教えてくれる。蒲郡の昔からの「地質コ
ーナー」もできた。
- ・開館当時よりも研究が進んで、名古屋大学と共同研究したり、教科書に載ったり、小・中学
校への出前授業や出前講座なども積極的に展開している。

小学生時代まではとても利用頻度が高い。中高生以上の年代や大人でも、興味をいなく
展示や講座を取り入れてほしい。

一般公募、若者議会、中高大生

- ・科学館に楽しい思い出が沢山ある。小学生の頃ワークショップでよく行っていた。
- ・小さい時は行くが、中学生になって行かなくなった。
- ・小学校のとき博士のショーを見に毎月行っていた。割れないシャボン玉とか科学ショー。
- ・小学校3年生の遠足で行った。実際につくったり体験できるイベントをやったり、30分の
ミュージアムシアターでゲームみたいな体験をした。低学年でドはまりしていた。
- ・科学館には、小さい子の若い親子が集まれる広場がある。一方、中高生は行かない。ときど
き内容が変わる、あるいは興味を引く内容が増えれば来るかもしれない。
- ・科学館は小さい子がいるイメージがある。実際、私も小学校高学年以降は行く機会がなかつ
た。中学生や大人でも楽しめる企画をやると来るだろう。
- ・子どもが科学講座にいらっているが、展示されている化石や岩石、宇宙のコメントなどをあま
り理解していない。多くの人が価値を理解できてないと思う。
- ・中学・高校でもゲームで楽しく生き物のことを学べたり、ミュージアムシアターでプラネタ
リウムや、野外で実際の空を転がって観察するのもよい。

○科学館で体験してみたい学びや催しなど

蒲郡の海や地質など実際の自然環境を活かして、蒲郡をもっと知る機会があるとよい。目の前の海などフィールドでの観察や調査、漁業の営みから蒲郡の自然を知るなど多様な視点での「地域に飛び出すプログラム」を体験したい。

一般公募、利用者、利用者、若者議会、中高生

- ・「蒲郡の人が蒲郡のことをもっと知る場所」になると良い。
- ・蒲郡と言えば「海」。例えば、「潮干狩りができるまで」と題して、蒲郡漁業協同組合の一年間の準備や苦勞、その舞台裏を伝えつつ、「アサリの生態」にも理解が深まるとよい。
- ・展示は海をテーマで構わないが、「もっと蒲郡を知る、学べる場所」になると良い。
- ・蒲郡の大島に珍しいナメクジウオがいて、学芸員が毎年行う調査に市民も参加したい。
- ・海岸散策をしていろいろ調べたい。
- ・生態系調査は大人も参加してみたい。生態の変化を理解したい。

<山中館長と一緒にブラタモリみたいな地質ガイドツアー>

- ・山中館長は石の専門家でお話し好き。蒲郡の昔からの「地質コーナー」もできた。
- ・館長がせっかく地質学に詳しいならば、竹島、三河湾、蒲郡市などのフィールドに出て地質学的特徴を学ぶような「地域にとびだすプログラム」があるとよい。
- ・ブラタモリみたいな蒲郡市内の地質ガイドツアーがあると面白い。実際に行って触れる。
- ・岩石や地層を知る。さまざまな鉱物が近隣でもとれる。

<蒲郡のフィールドでのお泊り体験ツアー>

- ・夏休み中、科学体験が出来るお泊りツアー。昼間は三河湾で鉱物などを学芸員と勉強する。地引網で釣り上げる。調理して食べる。水族館も訪問、山も訪問して地質を勉強する。夜は星空観察。

<蒲郡の海を活かしたプログラム>

- ・竹島があるので、目の前の海を活かしたフィールドのプログラムがあるとよい。施設内でのプログラムはとても充実して楽しい。子の理科離れを心配しないで済む。
- ・関わる人が一生懸命になって盛上げていくのがよい。海、水の特殊性など、奇跡に近い形で地球が存在している。それを子どもたちに伝える場所にしたい。
- ・化石、標本、生きている海の生物、実物に触れる体験ができるといい。ちょっと危ない生物など。
- ・漁師さんなど、海で働く方のお話を聞ける機会があると良い。

見るだけでなく、実物やレプリカに触れる体験や、実験したり、製作したりするワークショップ体験ができると、さらに興味をもって学ぶことができる。

一般公募、利用者、利用者、若者議会、中高生

- ・電気の科学館のように、体験できるスペースがもっと欲しい。
- ・触れるもの・珍しいものがあると行ってみたいと思う。

- ・竹島水族館のような「見て面白い」「触って面白い」体験できるとよい。目で見ただけで分かると、子ども達が興味を持ち、スゴイと思ってもらえる。
 - ・実物に触れられる場を大切に、ワークショップを続けるのがよい。
 - ・プログラミング教育の風潮があるけど、実感できる学びも大事だと思う。
 - ・化石掘りなど、科学を体験するワークショップが行いたい。
 - ・理系の大学の先生を迎えて子供が実験を体験するとよい。
 - ・自分は科学が苦手だが、インストラクターから身近な形で体験できる展示なら楽しめる。
 - ・小中学生の自由研究向けの理科室的な実験スペースがあればもっと利用が増える。
- <ものづくりワークショップやコンテストなど>
- ・トライ&エラー型のワークショップ（エッグドロップ・コンテストのような催しなど）があると、興味をもって学べる。
 - ・ものづくりに関する関心を子どもの頃から持つ機会を持つ。子どもたちを対象に「知りたい」「やってみたい」を促すイベント。

最先端の科学の講演会、講座、読書会などの、大人も子どもも関心をもつきっかけや交流の機会をより推進してほしい。

利用者、若者議会

- ・著名人の講演会。大人も興味深い内容。堅苦しくなく勉強になる（JAXA、宇宙のお話。分野は問わない）
- ・蒲郡で最先端技術の講演会が聞けると素晴らしい。
- ・展示に関連する専門家を呼んで講演や、体験会、ワークショップをする。
- ・小学生向けの定例講座を続ける。関心のタネをまくために必要。
- ・読書会、哲学カフェ
- ・若い研究者（大学院生など）と中高生が交流できる講座。

大人向けの科学講座、ちょっとマニアックな講座、仕事に役立つ講座があると、中高生や大人も学びを深めていけるため、より良い施設となる。

利用者、若者議会、中高生

- ・以前、夜間に行っていた成人向けプログラムが良かった。
- ・大人のための科学講座。大人向けイベントがあっていい。
- ・大人向けの講座。時間が短いのがもったいない。午前は講座、午後はフリートークなど。
- ・ワークショップは子どもや子連れ対象が多い。大人向けのワークショップで大人も楽しみたい。
- ・高校生向けのワークショップがあれば体験してみたい。具体的なテーマは特にないが、考察が入っているような難しめのテーマがよい。
- ・web制作や、プログラミングが学べる実際に役立つ講座もほしい。意外に高校ではプログラミング教育はない。
- ・展示物。昔の生物、深海など特化したマニアックな魅力を学べる講座がほしい。

ユニークで楽しい企画やイベントを開催することで、いろいろな人に興味もってもらい、幅広い人に来てもらう施設となる。

一般公募、利用者、若者議会、中高大生

- ・子どものころ館内で迷子になった、館内の探検も面白い
- ・鬼ごっこついでに学ぶような展開ができるといい。
- ・化石のレプリカとかを使って発掘ゲームとか宝探しゲームで楽しみながら学ぶ。
- ・学芸員の仕事を体験する講座。普段知られていない仕事の裏側を体験できる。
- ・スクリーンを有効活用して、映画上映会をする。
- ・土曜日の午前は「パパ&子ども」連れが多い。それをねらったイベントを企画する。
- ・海に近いので建物の屋上でヨガをやってみたい。
- ・海や科学に関する謎解き&リアル脱出ゲームをしてみたい。
- ・「化石」をハーバリウムのようにして楽しみたい。
- ・化石だけでなく、それに関連した「生きた動物」がいると関心が深まる。

○展示方法や科学館のテーマについて

展示方法を工夫することで、多世代に分かりやすく、また、ワクワク感のある施設にしてほしい。

一般公募、利用者、若者議会、中高大生

- ・入った瞬間に面白いぞと思わせるディスプレイ。体験や触れられる展示。蒲郡につながる企画をやりつつ、集客のために多世代にかかわる企画や展示をする。
- ・入口の大きな恐竜の化石の画面で、恐竜が動くのがお気に入りだった。何を伝える施設が分かりにくいので入ってすぐに教えてくれると理解しやすい。
- ・展示物がたくさんあって何を物語るのか分かりにくい。多様な視点でみることで同じものでも、物語るものが変わるので、見せ方を工夫すると良い。
- ・施設内の「シアター」は、恐竜ばかりじゃなくいろいろ活用するとよい。
- ・子どもが科学講座にいらっているが、展示されている化石や岩石、宇宙のコメントなどをあまり理解していない。多くの人が価値を理解できてないと思う。

3D、VR、AR、AIなど先端技術を使った科学体験がしてみたい。

一般公募、若者議会、中高大生

- ・3D、VR、AR、AIなど先端技術を使った科学体験ができる施設がよい。技術の進歩にあわせ、毎年のようにソフトを更新しないとすぐに陳腐になってしまう。
- ・3D、VR、AR、AIも体験できるようなスペースが欲しい。
- ・博物館にも共通：VRとか動画を使って、体験型にする。昔の姿をVRで再現する。
- ・バーチャルリアリティを使って、ジュラシックパークみたいな動画が見れたら楽しそう。
- ・海が近い。深海のVR体験があると良い。
- ・地震や暴風など災害を体感できるようなものがあると良い。

地球温暖化やSDGsといった大きなテーマを学び、地域に発信する施設にしたい。

一般公募、利用者

- ・地球温暖化の影響は暮らしにさまざま影響している。何を頑張っても、気候変動の大きな影響を受けてしまう（みかんも蒲郡で育てられなくなるかもしれない）。科学館の研究者が研究していることを市民に発信したり、地域の企業の取組みを紹介してほしい。例えば、水族館は、漁師と連携して海の現状を把握している。
- ・環境問題に取り組むことができるような展示もしてほしい。
- ・SDGsの時代なので、海から環境を考える展示や取組みがあるとよい。

○市民・地域に親しみを持たれる施設となるために

科学館といっても様々であり、施設の特徴や展示内容などが市民に知られていない。市民にもっと周知し、理解してもらう取組をしてほしい。

一般公募、利用者、中高生

- ・名称「生命の海科学館」に蒲郡を感じない。蒲郡でなぜ生命や科学なのか理解しにくい。
- ・科学館にどんなものが展示されているかイメージが湧かない。
- ・科学館の展示物の価値を、私たちがよく理解するところから始める必要がある。
- ・いつも新しい講座や体験が行われている印象が大切。
- ・SNSやインターネットをしない人は、施設の情報をなかなか得られない。
- ・既にやっているユニークな講座や体験をもっとみんなに広めていくべき。

学校とより連携し、科学館での実験や体験が、学校の学びを補完するサブ・スクールの役割を担うことが期待される。

一般公募、若者議会、中高生

- ・名古屋大学と共同研究したり、教科書に載ったり、小・中学校への出前事業や出前講座なども積極的に実践している。
- ・学校の学びの補完ができる「サブ・スクール」のような存在。学校では座学だけど、科学館では実験や体験、科学者の目線から学べる。
- ・学校でできない実験とかを科学館で補完できると、違う視点から科学への理解が深まる。
- ・中学生が興味をひくように、学校の生物の授業で科学館に行く機会をつくる。
- ・科学館で既にやっているユニークな講座を生物の授業で位置付けるとよい。
- ・小中学校を巻き込んだ、大きな実験をしてみたい。

民間企業や店舗と連携して、新しいお土産やメニューの開発をして地域を盛り上げてほしい。

利用者、若者議会、中高生

- ・全国的にも有名な産業、企業との連携。子どもたちが学び、将来につながるようなストーリーを伝えていく。地元の企業と連携した展示もあれば連携も強化される。
- ・ナイトプールなどラグーナの催しに便乗して、海とか蒲郡にちなんだインスタ映えの食べ

物など、若者世代が関心をもつ展示や体験があると、立ち寄る人が増える。

- ・竹島水族館の「グソクムシせんべい」は面白い。化石のせんべい、お菓子など“おもしろ系”のお土産やメニューがあると面白い。
- ・ウッドデッキでバーベキューができると面白い。

○施設の建物や空間、立地などについて

講座やイベントを活性化させるには、より広いスペースとプロジェクターなど施設環境や設備機器が必要。屋外のテラス空間は良いが、もっと活用する工夫がほしい。

一般公募、利用者、若者議会

- ・ワークショップスペース、体験スペースがもっとほしい。
- ・プロジェクターや、電源（USB）、Wi-Fiなどの設備が必要。
- ・パソコンルームで音声が出せなくて、ワークショップができず、機材がもったいない。
- ・屋外にテーブル椅子があるので、ここで海を眺めながら本を読めるとよい。
- ・屋外の空間は今も良いので、もっと充実させるとよい。
- ・フリースペースの机やイスは、もっと使われるように工夫したほうがよい。
- ・プラネタリウムがあるといい。期間限定でもよい。

駅にも海にも近く立地環境がよい。施設は明るく開放的でよい。市の中心地以外の子どもたちが気軽に行ける手段があるとよい。

一般公募、中高生

- ・最近リニューアルして入りやすくなった。
- ・海が見えるなど、完成してずいぶん経つが施設としては素敵。
- ・科学館は立地がよい、「海」を見ながら本が読める。
- ・地域からは遠く、子どもたちだけで自転車で行くことができない。

その他の意見（研究施設の役割、水族館と科学館の複合化など）

一般公募、利用者

- ・水族館と科学館を複合化して、色々な世代が使える施設になるといいと思う。科学館では、高齢者向けのスマホ講座を開催するなど。
- ・こういった若い市民の声を施設に届けることが大事。
- ・科学館は教育施設と同時に研究施設でもあるので、研究も一層充実してほしい。